

わが家が
一番危ない! コケないリフォーム7選

サンデー毎日

大正11年3月31日第三種郵便物認可2020年11月15日発行
第99巻第53号通巻5631号 毎週火曜日発行(11月2日発売)

定価430円

11.15 2020

井ノ原快彦
巻頭グラビア&
インタビュー7P

民族浄化
進める
中国政府

コロナと
インフルに
勝つ

法律相談無料、葬儀の割引…
免許返納の特典

古田新太がオススメ

コミックバンドの世界

菅義偉と竹中平蔵
蜜月の仲

巨人本拠地・東京ドームが窮地？ 筆頭株主のファンドが痛烈批判

東京ドームは12月中旬に臨時株主総会を開く。きっかけは香港のヘッジファンド「オアシス・マネジメント・カンパニー」が10月16日、総会招集を要求したことだ。

オアシスは東京ドームの発行済株式の9・6%を保有する筆頭株主。20日付プレスリリースによれば、総会を求めた理由を「東京ドームの代表取締役社長および、在任期間が15年を超えている2名の社外取締役の合計3名の取締役を解任するためとしている。

東京ドームは新型コロナウイルスの感染拡大を受け、運営する球場で読売ジャイアンツの試合が中止・無観客試合になるなどして、2・7月期の売上高が前年同期比62・5%減に落ち込んだ。2021年1月期連結決算は180億円の最終赤字に陥ると見通している。

同社、ジャイアンツ運営会社の読売巨人軍、その親会社の読売新聞グループ本社は7



東京ドームのジャイアンツ戦は一時、無観客で開かれた（6月19日）

月、球場の換気強化やキャッシュレス決済の推進などをうたう「新たな取り組み」を発表した。

しかし、オアシスのセス・フィッツシャー設立者兼最高投資責任者は22日、オンライン記者会見で痛烈批判した。

「（東京ドームの）今の経営陣は大きな改善をしようとしていない。会社のプランは規模が小さく、スピードも遅く不十分だ。特にこの7年間は収益性などの改善に失敗しており、責任を取ってほしい」
同社のウェブサイトによれ

ば、フィッツシャー氏は1993年に米ニューヨークにあるユタヤ系大学のイエシバ大を卒業し、イスラエル国防軍に所属するなどして2002年

買い物難民を救う移動スーパー 「とくし丸」の担い手が急増中

大型店舗に押されて近所の商店が廃業したり、公共交通の廃線によって足を奪われたりして、食料品や日用品の購入に不自由している「買い物難民」。

代替手段としてネットスーパー、弁当や食材の宅配、送迎サービスなどが挙げられる。しかし、多くが高齢者である「難民」にインターネットはハードルが高い。その他も、見て触って選ぶ、買い物の楽しみまでは満たしてくれない。

そんな中で注目されているのが移動スーパー「とくし丸」
II写真IIだ。軽トラックに食料品や日用品を積み込み、玄関先まで来てくれる動くスーパーマーケット。小兵ながら商品数は400品目以上、1200点あまり。冷蔵庫付き

にオアシスを設立した。ジャイアンツは今季、ペナントレースを独走中だが、本拠地の行方はいかに――。
（森岡英樹）

の専用車で、生鮮食品も取りそろえている。

展開しているのは、徳島市に拠点を置く株式会社とくし丸。現取締役の住友達也氏が2012年に創業し、着実に操業台数を増やしてきた。

「現在、全国で約600台が稼働中。去年までは年間100台増くらいで推移していたが、今年は約2倍になってい



公式サイトは
<https://www.tokushimaru.jp/>

ます。飲食店経営者やコンビニのオーナーが転職するケースも多い。コロナ禍の影響を感じます」（住友氏、以下同）
実働するスタッフは販売パートナーと呼ばれ、同社のノウハウを学び、提携する地元のスーパから商品を仕入れる。

「担当地域で顧客を開拓し、週2回訪問します。また当社は各自治体と見守り協定を交わしているので、販売パートナーは地域の人たちへの目配り役も担っている。定期的な訪問販売は対面での安否確認ができるので、行政にも喜ばれています」

実際、救急車を呼んだケースも少なくないという。
「パートナーとの会話を楽しみにしてくれているお客さんは多いし、近所の人々がわざわざでなく、自然に集まる場になることも。販売だけでなく、地域のコミュニティを再生している、という実感がありません」

買い物問題の解消だけでなく、こんな時期だからこそ、なお必要とされているサービスといえるだろう。（小出和明）